

本庁舎建設基本計画を策定しました

《基本理念》

「日本の宝島“天草”の創造」を構築する拠点となるような庁舎

《基本方針》

①住民自治の拠点となる、親しまれる庁舎

- ・市民が気軽に利用でき、市民に開かれた庁舎を目指します。
- ・市民が市政に関する情報を得られ、議会・行政も政策立案のため情報を共有できる総合情報機能を強化し、市民、議会・行政が交流・連携し、協働を円滑にできる庁舎とします。
- ・NPOやボランティア団体なども気軽に利用でき、住民自治の拠点としての機能をあわせ持つ庁舎を目指します。

②あらゆる人にやさしく、ユニバーサルな庁舎

- ・年齢や障がいの有無にかかわらず、あらゆる人にとって使いやすく、わかりやすいユニバーサルデザインを基本とします。
- ・周辺道路や路線バスなどの公共機関の状況、必要台数を確保した駐車場の整備などにより、来庁者の利便性の向上を図ります。
- ・市民サービスの向上を重視した機能の充実を目指します。

③防災拠点にふさわしい、安全、安心な庁舎

- ・災害時の防災拠点にふさわしい、災害対策本部の機能や避難場所としての機能も備えた安全性、耐震性の高い庁舎とします。
- ・情報管理など高いセキュリティ機能を備え、市民の情報財産を守り、外部からの進入防止などあらゆる対策を備えた安全・安心な庁舎とします。

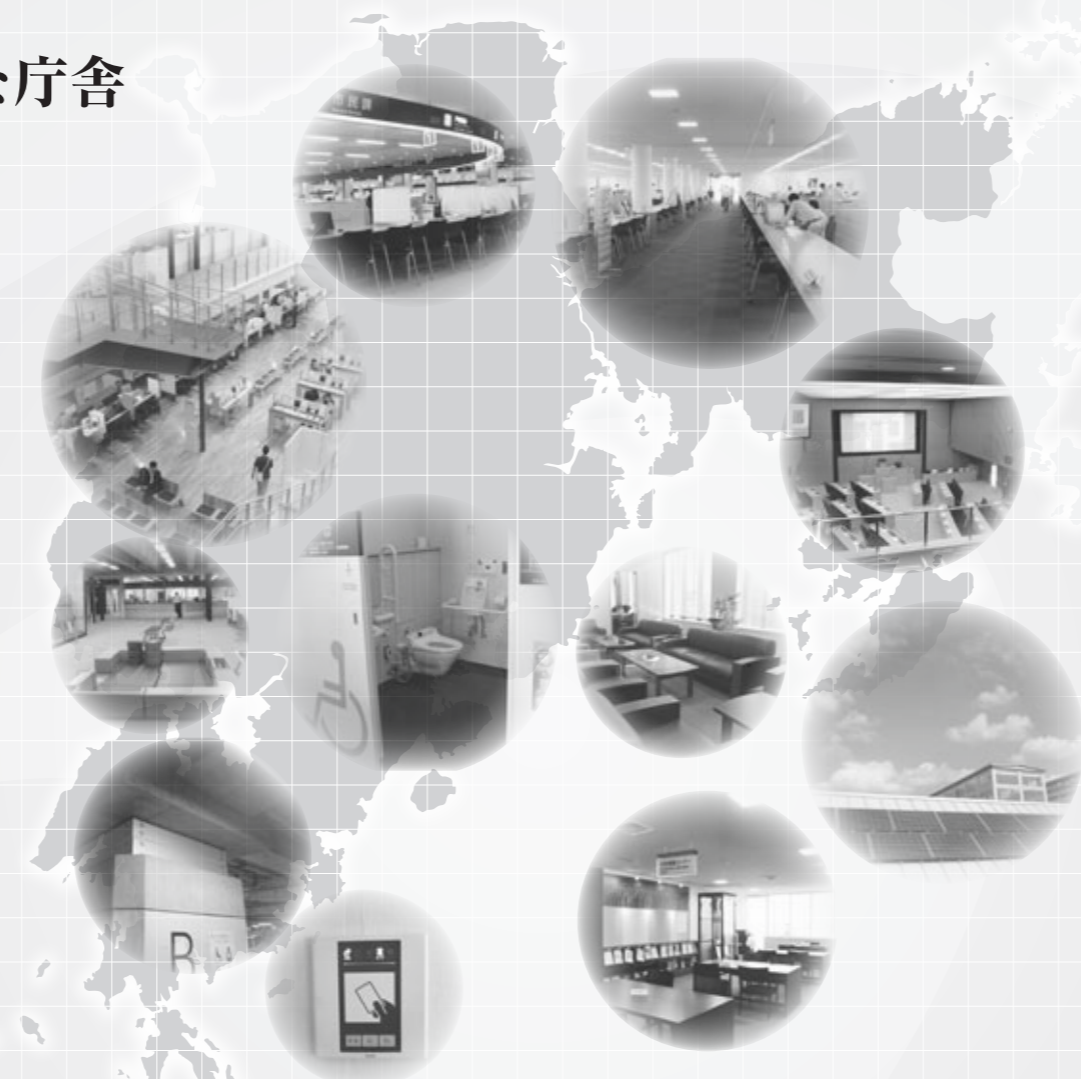
市では、現在の本庁舎の老朽化や耐震基準不足などに伴い、新しい本庁舎の建設に向けた取り組みを進めています。今回、本庁舎建設の場所や規模、機能などの事項を取りまとめた「天草市本庁舎建設基本計画」を策定しましたので、同計画の概要についてお知らせします。詳しいことは、本庁・庁舎建設推進室 ☎ 231111 へお尋ねください。

④機能性・効率性を重視した庁舎

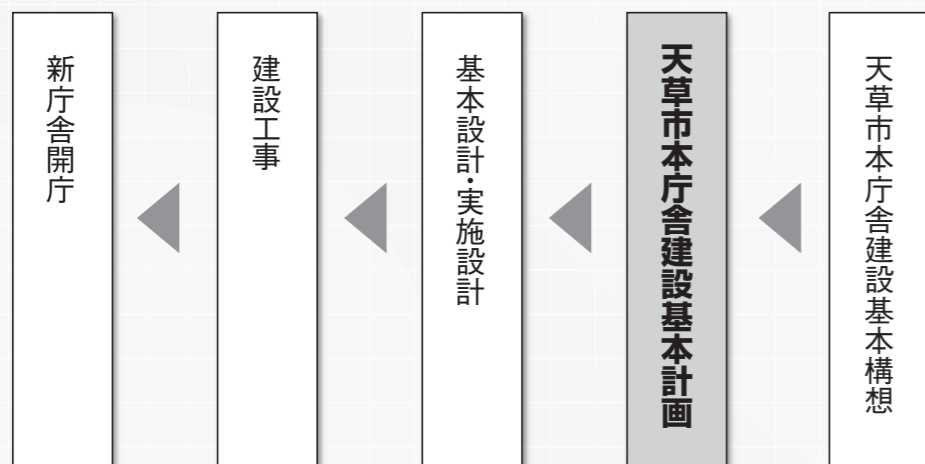
- ・機能性や効率性を重視した庁舎とし、建設費用の削減に努めます。
- ・建設費用や、将来の市の財政に与える影響について詳細な検討を行い、市民の理解を得ながら整備を進めます。
- ・施設の長寿命化や維持管理の効率性、スペースの汎用性、将来の施設改修・設備更新への対応を容易にするなど、ライフサイクルコストも考慮した長期的に経済効率の高い庁舎を目指します。

⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎

- ・太陽光などを取り入れ、省資源、省エネルギー対策に配慮した庁舎とします。
- ・太陽光発電システムなどの自然エネルギーの導入を検討し、環境負荷の低減に配慮します。
- ・周辺環境や天草の自然と調和した天草のシンボルとなる、将来の都市づくりにも十分に配慮した庁舎とします。
- ・天草の特性をいかした地場産材の活用を検討します。



※画像はイメージです。



天草市本庁舎建設基本計画の位置づけ

本庁舎に必要な機能や規模などについてまとめたもので、基本設計・実施設計を行ううえで基本となる計画です。

天草市本庁舎建設基本計画 策定までの主な取り組み

- ▼平成22年7月 庁内に本庁舎建設にかかるプロジェクトチームを設置し、本庁舎建設にあたっての基本的な考え方などを取りまとめた「天草市本庁舎建設基本構想」を策定。
 - ▼平成23年7月 学識経験者や市内の各種団体から推薦を受けた人、公募で選任された人など10人による「本庁舎建設検討委員会」を設置。
 - ▼平成23年9月 市議会において議員10人による「庁舎建設に関する特別委員会」が設置され、以降、継続的に調査・検討がなされる。
 - ▼平成23年10月 市民3,000人を対象にした「本庁舎建設にかかる市民アンケート」を実施。
 - ▼平成24年3月 同検討委員会が7回の検討会議をへて「本庁舎建設に関する提言書」を取りまとめ、安田市長へ提出。
 - ▼平成25年3月 「天草市本庁舎建設基本計画（案）」を策定し、パブリックコメントを実施。
- ※パブリックコメント：重要な施策を立案するときに、その案を広く市民に公表し意見を募るとともに、出された意見を案にいかせるかどうかを検討し、その結果と市の考え方を公表する制度。